

紙の博物館

☎ 893-0886

●開館時間 9:00～17:00

●休館日 毎週月曜日

(ただし、祝日は開館し翌日休館)

「第8回高知国際版画トリエンナーレ展」開催迫る！



【大賞】

作品名

「Essence, Truth, Reality No. 8」

作家名

BOONMEE SANGKHUM(タイ)

技法 メゾチント

10月8日から11月20日まで開催される第8回高知国際版画トリエンナーレ展の準備が進んでいます。この版画展は、土佐和紙の産地から世界にむけて土佐和紙の振興と版画文化の向上を図るために1990年から開催されてきました。賞の中には、大賞のほか高知県ならではの土佐和紙賞や日和崎尊夫賞、県内企業14社のご協賛をいただいた準大賞、優秀賞、佳作賞があります。また寄付金やボランティアスタッフなど物心両面において多くの方々にご支援をいただいています。

この版画展は、是非多くの皆さんにご覧いただきたく、ギャラリートークなどいろいろな取組を計画しています。前売り券は300円、紙の博物館年間観覧券は1,500円で販売していますので、3年に一度の機会をお見逃しなく、是非会場にて約180点の作品をご鑑賞ください。

○第26回紙とあそぼう作品展

7月24日(日)～8月24日(水)

子どもたちに、高知県の主要産業である「紙」を身近に感じてもらうと開催している「紙とあそぼう作品展」。今年も、創意工夫を凝らした83点の作品を一堂に展示します。



【土佐和紙賞】

「和紙の可能性にチャレンジ!! 森羅万象に思いを馳せて～北斎の唐獅子牡丹～」

神谷中学校平成22年度3年生 (8名)

いの町の和紙を使ったちぎり絵で、北斎の唐獅子牡丹を描いています。花や葉の微妙な色合いを和紙の特性を生かして見事に表現した力作です。是非会場でご覧ください。

○和紙でつづる「四季のうた」

7月27日(水)～8月10日(水)

幼稚園児から大人までの和紙に親しむグループが制作した作品を展示します。

○吉川染工房の仕事と絵金展

8月9日(火)～8月31日(水)

高知独特のフラフ・土佐凧、江戸末期の絵師金蔵の作品を展示します。藍木綿の小物も販売します。

○保手浜孝「版画のはらうた」原画展

8月14日(日)～8月31日(水)

「版画のはらうた」(詩:工藤直子・出版:童話屋)の原画約30点を展示します。のはらむらの愉快的な仲間たちに、会いにきてください。書籍の販売もあります。

☆版画ワークショップ

日時 8月17日(水)

13:00～15:00

○第68回野並允温個展

「土佐和紙に水彩画で描くもう一つの脱藩の道」

9月6日(火)～9月30日(金)

土佐和紙に描いた水彩画60点を展示します。

【同時開催】向陽会絵画教室展

■毎月第1日曜日は「流し漉き」の日

実習料 1,500円

所要時間 約1時間

60cm×90cmの大きな和紙を漉く伝統的な技法「流し漉き」を体験してみませんか?

簡単ではありませんが、技術員が丁寧に指導しますので、初めての方でもきれいな和紙を漉くことができます。

ギャラリー・コバ

☎ 893-1200

●開館時間 9:00～17:00

◇トリエンナーレ展版画海外作品貸し出します

8月13日(土)～8月30日(火)

過去の高知国際版画トリエンナーレ展海外作品約20点を店舗等に無料で貸し出し、あちこちで版画に出会える町にしようと企画しました。お気に入りの作品を選びに来てください。

◇秋の手づくり雑貨ふれあい展

9月3日(土)～9月5日(月)

手づくり好きな仲間が楽しみながら作った、天然石・ビーズ・七宝焼のアクセサリ、アートフラワー、染物バッグや小物類などを展示販売します。様々なジャンルの手づくり作品にふれあってもらいたいと思います。

◇心窯・丸山窯・清風窯 備前焼 作陶展

9月15日(木)～9月19日(月)

備前市、吉延さん・本山さん・出井さんの作陶展です。土味や焼成、作風の違う個性豊かな食器や酒器、花器などの器物や壺など、約300点を展示販売します。備前焼特有の土と炎の芸術を是非ご覧ください。